

平成二十八年度文京区中学生俳句大会 特選・入選作品発表

特選【佐怒賀正美 選】

夕暮れや落ち葉踏みしめサーブ打つ 本郷台中学校 松岡 瞭介

きがつけば月に照らされ練習中 第九中学校 樋山 航海

走る僕滑る枯れ葉になりたくて 第八中学校 松本 駿祐

放課後に狐火見える疲れかな 郁文館中学校 岡本 航

太陽もはやめにかえるクリスマス 第六中学校 五十嵐 万莉

特選【松澤雅世 選】

月夜より暗きものなる胎内か 茗台中学校 大坂 佑菜

両親の声と重なる雪の音 本郷台中学校 正垣 裕奈

夕暮れの身に込むかおり野のかおり 第九中学校 中村 隆世

暗くなる速さと寒さは比例する 第八中学校 富永 行人

母さんの後ろ姿がもみじ色 本郷台中学校 松本 日和

【佐怒賀正美 選】

大掃除寒さこらえてピカピカに

第六中学校

武智 恵美

北風の響く歌声寂しそう

第一中学校

落合 和奏

雪だるまとけても残る思い出が

第六中学校

圓生 隆太

冬休み体鍛えて勝ちまくる

第六中学校

大久保 花菜

想いをこめた歌声響く秋の空

第九中学校

関本 鼓太

初雪にざわめく街で恋の予感

郁文館中学校

鵜野 ひな美

こがらしに吹かれる私は君の傍

第九中学校

間山 琴美

汗かいて仲間と回る京都かな

茗台中学校

落合 里沙

重なる葉虫にとってはこたつかな

第九中学校

福德 純子

二次試験広がる秋晴れ努力賞

第三中学校

冨田 彩乃

入選【松澤雅世 選】

秋空と僕の未来にくもりなし

第八中学校

粉川 祐吏

焚火から山のぬくもり感じてる

第一中学校

野口 健

風花に見上げた空は浅葱色

第六中学校

浦野 貴理子

どんとどんと気温体温低下中

第三中学校

田中 颯太

一日と同じものないうろこ雲

第九中学校

牧野 未来

金木せい幸せただよう通学路

第九中学校

汐恩 輝

プロポーズノーと言えないクリスマス

本郷台中学校

倉地 裕仁

銀杏を踏んだショックがいえなくて

桜蔭中学校

道下 里菜

千本の鳥居を包む京の霧

茗台中学校

柳内 大河

【 佐怒賀正美 総評 】

中学生活から出てくる風景は生き生きとしている。日常生活を具体的によく見、よく感じ、よく考えて、拙くてもよいから自分なりの言葉を見つけよう。注目した選外の作を二句引く。

〈一生に一度の今年の冬景色〉毎日の一つ一つの人や物との出会いの時間は一回性のもの。それに何気なく気づくのもこの頃かも知れない。

〈雪だるま命ふきこみ話したい〉部活や勉強もしよう。初恋もしよう。いろいろなものに命を感じて対話しよう。